

大志

山岡中学校だより

令和7年度 1月末号



仲間の成長に驚き、自分も成長している

校長 後藤 琢磨

人の幸せは、人間関係にかかっていると言っても過言ではありません。

親と子、先輩と後輩、上司と部下、一般的な上下関係は、上の者が下の者を可愛がり、下の者は上の者を敬うという、ごく自然で健全なものです。

しかし、対等であるはずの同級生において、理不尽な上下関係って身近にないでしょうか。



山岡中のように、こども園からほぼずっと同じメンバーで過ごすと、理不尽な上下関係が、暗黙のうちにでき上がってしまいがちです。

それを打ち破ったものの1つが学校行事です。体育祭のかっこいい姿、合唱祭の歌声、「まさかあの子がこんな姿を見せるなんて。」

打ち破った2つ目は勉強です。「まさかあの子がこんなにできるようになるなんて。」

そして3つ目が、全身に感じるオーラです。「え、すごい。あの子初対面の人に、あいさつして敬語で話している。」「あの子、人をバカにしなくなったよね。」「あの子とよくしゃべるようになって、なんか毎日楽しい。」

人生には坂が3つあります。上り坂、下り坂、そして「まさか」です。「まさか、あの子が、こんな素敵なかな生徒に成長するなんて・・・。」

これだから人生はおもしろいです。

先日、志講演会で講師をされた後藤敦也さんは、こう話されました。「仲間を大事に。そして、遊びも勉強も毎日が真剣勝負。負けたら、その悔しさを力にしてがんばろう。」まさかこんな子に育つなんて・・・。

